

2021 年度 (令和 3 年度)

学校評価自己評価表

大門 中学校区 校番 39 福山市立 旭丘小 学校

最終更新日 2021年(令和3年)4月7日

I 福山市

ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性 共感力
<ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の活動を推進する 情報発信及び地域行事への参加等により、地域と学校の協力体制を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・表現力が弱い。 自尊感情は高まってきたが、主体的に行動する力は弱い。 	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	自ら考え、学び、表現し、自尊感情の高い生徒
		中学校区として統一した取組等	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学びに向けた授業を創る。 レーダーチャート等を活用し、学級力や自尊感情を高める取組をする。(年3回アンケート実施) ワークライフバランスを意識した働き方を進める。

III 自校

ミッション	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	共感力	
一人一人のよさを仲間と共に輝かせる子どもを育て、地域に誇れる学校を創る	めざす子ども像	1・2年	自分で疑問や課題を見つけ、生活体験や既習事項をもとにして解決しようとしている。	生活体験や既習事項から自分の考えをもち、絵や言葉、動作などを駆使して順序立てて表現している。	自分がやらなければならない勉強や仕事を進んで行っている。	身近な人に温かい心で接している。
学校教育目標		3・4年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決している。	生活体験や既習事項から理由や根拠をもとに自分の考えをもち、絵や言葉、動作など適切な方法を選択し、表現している。	集団の中で、自分がやるべきことに気付き、進んで行動している。	相手の気持ちを考え、行動している。
現状		5・6年	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えをもち、目的や意図に応じて、論理的に説明したり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標をもち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。
	研究	テーマ	「学びの3つのシンカ」			
		内容等	友達と協働して学び合う「親化」、その学び合いを通してそれぞれの学びを深める「深化」、さらに次への課題に向けて学びを発展させる「進化」の授業づくり			
	めざす授業の姿	<ul style="list-style-type: none"> 児童が「学びが楽しい」と思える授業 課題解決に向けてあらゆる手段を活用し、みんなで考えを深める授業 				
<p>〈児童生徒〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が、自分の考えを自由に発言するようになってきたが、発言する児童に偏りが見られる。 目標をもって物事に取り組むことはできているが、自己肯定感が低い。 <p>〈授業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修計画に沿って研修を実施し、教職員が意欲的に授業の在り方について考え、学ぶ姿勢が見られるが、児童の自由な発言を生かした学び合いの授業を仕組むことが十分とは言えない。 						